敵非人道兵器を使用

新型爆弾を投下

廣島市 少數機で相當被害

大本營發表（昭和廿年八月七日十五時卅分）一、昨八月六日廣島市は敵B29少數機の攻撃に依り相當の被害を生じたり、二、敵は右攻撃に新型爆弾を使用せるものの如きも詳細目下調査中なり

着地前空中で炸裂

落下傘附爆弾に嚴戒

六日八時過ぎ敵B29少數機は廣島市に來襲し少數の新型爆弾を投下した、このため市内の相當數の建屋は倒壊した、市内各所に火災を發生するなど相當の被害を生じた、この新型爆弾は落下傘付のもので着地前空中で炸裂しその威力については目下調査中であるが敵は新型爆弾を新たに使用したことは注目に値する

敵は新型爆弾の使用を開始するに至つたこの新型爆弾の使用によつてわが無辜の民衆を殺戮せんとする米英鬼畜性を自ら世界に向つて公示したものである、敵がなぐり捨て自暴自棄的な新兵器の使用を開始するに至つた最大の理由は、戰鬪の現狀に由來した結果に他ならない、中部戰線の緊迫は沖縄の陥落にあり、敵はガダルカナル島反攻以來わが撤退作戰に狼狽して比較的順調に進撃して來たが、戰勢がわが本土に接近するに從ひ驕慢島さらに沖縄本島における攻防戰の如く、わが不撓不屈の敢鬪の前に敵の企図する即時講和の夢は次第に破滅するに至つた、殊に本土決戰の段階に至り所謂本土要塞の飛行、立籠る日本の攻撃機を破碎して太平洋戰爭を早期終結せしめるの希望を失ふに至つた、敵は例の如く「第一度殺げば必ず敵を屈する」との誤つた考へ方を以て新兵器を使用したこれは我地に於ける戰鬪に關するその日の新聞報道である

敵非人道兵器を使用

新型爆弾を投下

廣島市 少數機で相當被害

大本營發表（昭和廿年八月七日十五時卅分）一、昨八月六日廣島市は敵B29少數機の攻撃に依り相當の被害を生じたり、二、敵は右攻撃に新型爆弾を使用せるものの如きも詳細目下調査中なり

慘虐性を暴露

狙ひ民衆の殺戮

六日八時過ぎ敵B29少數機は廣島市に來襲し少數の新型爆弾を投下した、このため市内の相當數の建屋は倒壊した 市内各

戰爆百機侵入

豐川市に爆弾攻撃

下田から侵入

B29一機撃墜された 豐橋上空

敵は七日十一時十二分ごろ下田付近の海上に侵入、小田原、八王子、秩父、熊谷、伊勢崎、館林、土浦、銚子、浜より退去した

京濱に昼四十機

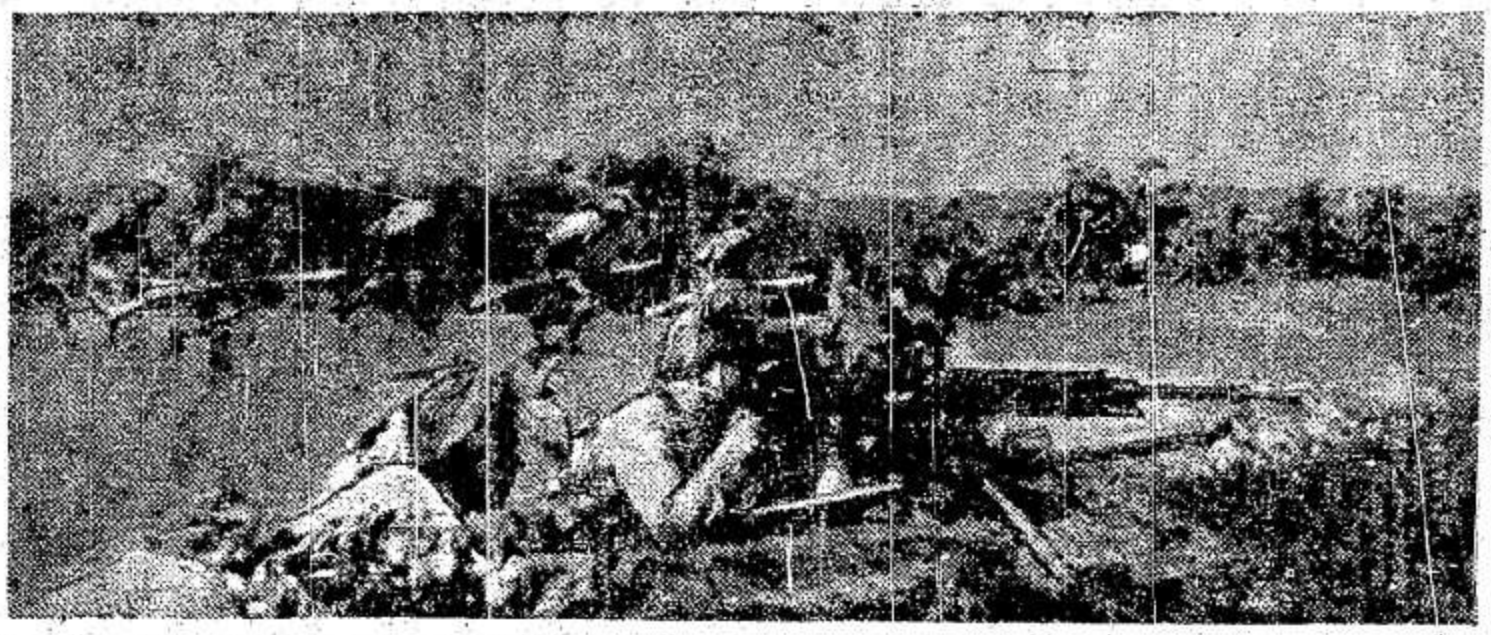
小磯英國機も參加

敵PB4Y二機は七日十四時半頃より凡そ二時間半にわたり關東地方及び東海半島海上を哨戒に行動した後十六時頃南方洋上に退

東印

駿河灘に大型機

敵PB4Y二機は七日十四時半頃より凡そ二時間半にわたり關東地方及び東海半島海上を哨戒に行動した後十六時頃南方洋上に退



敵陣に突入するビルマ戰線の我が精鋭